

産業厚生常任委員会資料

平成 31 年 2 月 8 日
都市整備部 都市政策課

目 次

都市計画マスタープランへの意見に対する考え方について

- ・住民説明会の意見・回答について ··· P. 1
- ・パブリックコメントに寄せられた意見に対する考え方について ··· P. 5
- ・主な修正箇所について ··· P. 12

加東市都市計画マスタープラン（案）住民説明会の意見・回答について

【住民説明会 開催概要】

社地域：1月10日19時～@社公民館（出席者10名）

滝野地域：1月9日19時～@滝野公民館（出席者7名）

東条地域：1月11日19時～@東条公民館（出席者6名）

※<市の考え方>は、説明会当日の回答ではなく、市の考えを記載しています。

区分	質問・意見	会場	説明会での回答
土地利用関係	空家を除却すると固定資産税が高くなることが問題であり、除却により税が優遇されるよう、国に働きかけてほしい。	東条	現在の制度では、除却をすると固定資産税が高くなります が、その前に、市場への流通や空家バンクへの登録を促す ことで活用につなげていきたいと考えています。
公共交通関係	Bioにアクセスするための細かな交通ネットワークについて、構想はあるのか。	社	Bio周辺のバスターミナルの整備については、バス事業者 などの関係機関と協議・調整を進め、路線バスや自主運行 バスなどが乗り入れることにより、各地域とまちの拠点を 繋ぐ計画としています。公共交通ネットワークの形成は、 地域公共交通網形成計画に基づき進めています。
公共交通関係	自主運行バスにより細かなネットワークを構築することができれば、現在配布しているタクシー券などは不要ではないか。神姫バスと自主運行バスとの比率はどうなるのか。自主運行バスにもっと力を入れてほしい。	社	具体的な事項は、担当部署により検討を進めています。 <市の考え方> 主に幹線を神姫バスが、地域と幹線までを結ぶ支線を 自主運行バスが運行することで地域公共交通ネットワー ークを構築していきます。 自主運行バスについては、拡大に向けて取り組んでお り、平成31年度に東条地域で自主運行バスの新規導入 を予定しています。今後も、更に新規導入を進めてい きます。

区分	質問・意見	会場	説明会での回答
公共交通関係	Bio周辺のバスターミナル整備は確定事項か。完成時期はいつを目指しているのか。	社	担当部署において、整備に向けた協議・調整を進めています。地域公共交通網形成計画に位置付けている施策であり、2022年3月の完成を目指しています。
公共交通関係	地域医療構想のなかで、近隣市の病院との連携も必要となってくるため、そのようなところに行き来できる交通機関の整備も必要ではないか。	社	今後、必要になってくるものであるので、検討課題として認識しています。
公共交通関係	将来的に車を運転できなくなった時に、バスが少ないため不安である。	東条	地域公共交通網形成計画に基づき、現在、東条地域で自主運行バスの導入に向けて取り組んでいます。 ＜市の考え方＞ 自主運行バスについては、拡大に向けて取り組んでおり、平成31年度についても引き続き取り組んでいます。なお、平成31年度に東条地域（大畑・蔵谷・藪地区）で自主運行バスの新規導入を予定しています。
教育施設関係	「兵庫教育大学など教育機関との連携」とあるが、どのような連携をしているのか。定例的な会議等を開催されているのか。兵庫教育大学と連携しながら、調査研究に取り組んでほしい。	社	兵庫教育大学との連携については、教育関係など各部署で連携事業を行っています。都市計画マスターplanにおいては、長期的な視点のもとで連携していきたいと考えています。若い方の意見なども必要であり、学生との意見交換や情報交換の場を設けていきたいと考えています。
教育施設関係	「教育・文化施設」について、社小学校の跡地はどのような計画があるのか。住民の意見を聞きながら進めてほしい。	社	現段階で具体的な計画は決まっていません。今後、地域関係者などと協議し、活用方針を決定していくこととしています。都市計画の観点からは、市街化区域のため、用途地域に適合するような土地利用ができればと考えています。

区分	質問・意見	会場	説明会での回答
計画実行関係	時代の動きが激しいので、できるだけ短期の目標を立てるべきではないか。	社	社会情勢の変化などを踏まえながら、適切に見直しを行う必要はあると考えています。
計画実行関係	都市計画マスターplanが都市づくりの基本的な方針を示すものであれば、実施計画が必要ではないか。具体的に何をするのか分かりにくい。	東条	実施計画などは、都市計画マスターplanに沿って、各担当部署により計画立案や事業を実施していくことになります。
計画実行関係	計画は、つくって終わりではない。	東条	今後、都市計画マスターplanに沿って施策を進めるとともに、社会情勢の変化を踏まえながら、適切に見直しを行う必要はあると考えています。
その他	まちの個性について、歴史的な経緯を踏まえながら、まちづくりを進めてほしい。	滝野	文化財など、歴史的な資源については、関係機関と連携しながらまちづくりに活用していきたいと考えています。
その他	東条川疎水との連携について、都市計画マスターplanに位置付けてはどうか。	社	県や担当部署に確認します。 ＜市の考え方＞ 東条川疎水については、農業施策の方針であるため、都市計画マスターplanには位置付けしません。
その他	生活するには人口維持が必要だと思うが、どのような施策を考えているのか。	東条	拠点や市街地を公共交通ネットワークで結んでいくことが大切だと考えています。子育て世代の移住を受け入れるため、定住・移住施策との連携を図ること、また、工業団地等による働く場の創出なども必要だと考えています。
その他	策定委員会のメンバーは誰か、どのような方がこの計画を策定されたのか分かりやすく示してほしい。	社	策定委員会の資料は、市HP上で公表しています。

区分	質問・意見	会場	説明会での回答
その他	説明会に参加している市民が少ない。もっと上手に周知すべきである。	東条	説明会の開催にあたっては、市広報での回覧、ケーブルテレビの文字放送、市役所ＨＰにより、周知を行っています。今後も、このような会の開催にあたっては、積極的に周知を図っていきます。

加東市都市計画マスタープラン（案）に係るパブリックコメントに寄せられた意見に対する考え方について

番号	意見等の概要	意見に対する考え方	マスタープランへの対応
1	人口展望で40,000人としながら、グラフでは39,500人となっている。	グラフの約39,500人は推計値を示すものである。	グラフのタイトルを「人口推計」に修正
2	滝野社IC周辺はポテンシャルが高く、周辺の土地に関しては、土地利用を図る余地がある。 主として工業系や商業系などの複合的な産業集積を図り、「区域拡大も検討」といった修正があれば良い。		
3	北野地区に隣接する穂積地区の農地は、滝野社ICにも近く、国道175号線の沿道であることから、住工共生区域が拡大できるよう文言修正を検討してはどうか。	住工共生地のうち、滝野社IC周辺は、広域交通結節点として、アクセスの良さを活かした土地利用を促進していく。	「滝野社インターチェンジ周辺は、広域交通結節点の利便性を活かした産業集積エリアとして、住工共生地周辺を含めた一体的な土地利用の促進を図る」ことを追加
4	滝野社IC付近に地区計画を活用した活性化を考えるべき。		
5	①やしろショッピングパークBio南の駐車場付近に、特別指定区域を指定してはどうか。 ②西古瀬の中小工場地、高岡の交差点付近、光明寺の市境手前の中小工場地など、工業地が集積するところは、特別指定区域を指定してはどうか。	①Bio南側の市街化調整区域については、市街化区域に隣接していることから特別指定区域の指定基準に満たないため、地区計画制度の活用や市街化区域への編入、商業系用途地域の指定などを検討する。 ②市街化調整区域内の工場集積地や廃工場の土地利用を促進するためには、特別指定区域制度の活用が有効である。	①記載しない ②「工場集積地などについては、特別指定区域制度などの活用を検討する」ことを追加

番号	意見等の概要	意見に対する考え方	マスタープランへの対応
6	県道西脇三田線の木梨～下久米間の歩道の整備状況に差がありすぎる。旧の175号も含めて県に整備を求めるべき。通学の自転車は危険である。	県道の整備については、県と調整の上、県の計画である社会基盤整備プログラムに基づく整備内容を記載している。 その他の路線で、危険箇所などがあれば隨時、県に整備の要望をしている。	「市内の通学路に関する箇所や安全対策上必要な箇所は、歩道整備などを促進する」と修正
7	議会でも検討すると述べていたBioと国道372号のアクセス道路整備についての記載はないのか。	人が集まる、また、民間事業者に選んでもらえるまちの拠点を形成するためには、道路ネットワークの構築が重要であると考えており、既存道路の沿道整備も含めて検討を行っている。	「まちの拠点の活性化を図るため、まちの拠点と国道372号を結ぶ道路の整備を含め、アクセス強化の手法を検討する」ことを追加
8	集落内でも、道路を挟んで市街化区域と市街化調整区域が分かれるところがある。 梶原地区、喜田地区などの市街化調整区域のエリアは、沿道の利便性や周辺の郊外型量販店が出店していることを踏まえて、市街化区域に編入してはどうか。	基本的には、市街化区域内の未利用地等の土地利用を促進し、必要以上の市街化区域の拡大は抑制していく方針であるが、市街化区域の土地利用の動向などにより、住宅地の確保が必要な場合は、ストック創出ゾーンの位置付けにおいて、市街化区域に隣接し、通学や日常生活において利便性の高い市街化調整区域については、住宅地の整備を検討していくことと考えている。	「市街化区域の土地利用の動向などにより、住宅地の確保が必要な場合は、市街化区域に隣接する市街化調整区域のうち、通学や日常生活において利便性が高い区域を対象に、土地区画整理事業や民間開発の誘導による宅地開発を検討する」ことを追加
9	現行の都市計画マスタープランでは喜田・山国区域の調整区域において、適切な土地利用への誘導が必要であるとされているが、今回は削除するのか。	記載内容や文言を整理し、修正	修正
10	全体構想と地域別構想で記載されている方針で、文言が違っていたりする箇所があるので、わかりやすく整理してはどうか。	記載内容や文言を整理し、修正	修正
11	市街化区域へのまち機能の誘導・集積を図る必要があると考える。	やしろショッピングパークBio周辺をまちの拠点として位置付け、商業・業務、交通、居住などの都市機能の集積を図る方針としている。また、都市的土地区画整理事業や民間開発の誘導による宅地開発を検討している。	記載済

番号	意見等の概要	意見に対する考え方	マスタープランへの対応
12	「事業所や店舗などが点在する幹線道路沿道の低・未利用地を解消するため、特別指定区域制度などを活用し、交通利便性を活かした土地利用を図ります。」などと書かれているが、具体的にどのようなメニューでそのようなことができるのか示してほしい。	現時点では、「工場、店舗等周辺区域」や「沿道施設集約誘導等区域」のメニューが考えられる。特別指定区域制度などの活用を方針として記載しており、その制度の中で取り組んでいきたいと考えている。	記載しない
13	意見記入様式のデータがエクセル形式で、改行もされなく、使いづらい。	改善し、今後に活かしていきたいと考えている。	記載しない
14	Bio周辺の市街化区域編入の協議は進んでいるのか。4年もたって検討ということで、進んでいないのであればBioを拠点にしようがないのでは。	Bio南側については、民間活力の活用を図ったが、民間事業者の出店条件である、人の多さや交通量といった条件が弱い部分があった。そこで、多種多様な社会実験を通して、人が集まる区域となるよう、地域の魅力・価値を向上させる取組を行ってきた。また、民間事業者の誘導を促す措置として市街化調整区域の地区計画などの手法も検討しており、これらの取組を進め、将来的に市街化区域への編入を見込んでいる。	記載しない
15	Bioを中心として開発すると言っているが、具体的に何をするのか。構想があるのか。	まちの拠点の形成に向けては、その地域の魅力・価値を向上し、民間活力の活用を図ることで、うるおいやくつろぎの機能を備えた、人が集まる場所づくりをしたいと考えている。地域の魅力・価値の向上に向けた市の取組として、バスターミナルの整備、パーク＆バスライド駐車場の整備、複合施設整備、沿道修景施設整備、その他（道路ネットワークの構築ほか）を検討している。	記載しない

番号	意見等の概要	意見に対する考え方	マスタープランへの対応
16	バスターミナルを整備しても、バス路線はどうなるのか。大阪に行くバスを検討するようなことも書いてあるが、神姫バスの意向は少しでも把握しているのか。	近隣市町や神戸・姫路・明石方面と加東市を結ぶ各路線の結節点となるよう、地域公共交通網形成計画に示す路線の実現に向けて、バスターミナルに乗り入れる路線についてバス事業者と協議を行っている。また、大阪方面へ向かう高速バスの発着点を目指し、バス事業者との協議も続けている。パーク＆バスライドの駐車場は、各方面と加東市を結ぶ路線バスだけでなく、高速バスや観光バスの利用者にも利用していただく。	記載しない
17	滝野社インターは交通結節点と書いてあるが、バス停も古く、路線バスも立ち寄らない便もあり、交通結節点としての機能が弱い。機能強化をプランに盛り込むべき。	滝野社インター停留所は、待合所、トイレ、駐輪場が整備され、周辺には民間の駐車場もあることから、既に高速バスの停留所として必要な機能を有しているものと考えている。	記載しない
18	市内で暮らすあらゆる人々が自由に移動できる地域公共交通ネットワークは、自主運行バスありきで完結するか。	自主運行バスの導入をもって市民の移動手段の確保が完了するとは考えてはいない。社会情勢の変化を的確に把握し、その時代にあった公共交通施策を開拓していくことで、市内で暮らす人々の移動手段を確保していくものと考えている。	記載しない
19	都市構造図、イメージということかと思うが、ストック創出ゾーン等どこが何かはっきりしない。鳥居や西垂水の調整区域にもストックを創出するのか。はっきりと区別できる図にすべき。	ストック創出ゾーンの円で囲んだ中において、新たな工業団地の整備、新たな市街地を確保していくという基本的な方針を示すものである。	記載しない
20	社地域について、都市計画区域内外で地域区分は分けるべきではないか。	社地域については、現行の都市計画マスタープランでは、生活圏でもある小学校区を中心に地域区分を定めていますが、小中一貫校による生活圏の拡大を考慮し、社地域として地域区分を設定している。	記載しない

番号	意見等の概要	意見に対する考え方	マスタープランへの対応
21	梶原地区マックスバリュ裏手の田畠は、道路に接した部分のみ開発が進んでしまっている。手を打つ考えはないか。	当該地内の分譲地を開発した事業者が、自社の将来の開発計画を見据えて、分譲地内の開発道路に接道できる余地を残していることから、当該民間事業者の開発計画に進展がある際に、未接道の土地に影響を与えることのない計画的な土地利用が図れるよう協議を進める考え方である。	記載しない
22	民間事業者との積極的な連携のもと、高度で多機能な都市機能の集積を図ると書いてあるが、具体的にはどういうことか。	人口減少・少子高齢化が進行するなか、持続可能なまちの拠点を形成するためには民間活力の活用が必要であると考えており、これまでの社会実験をはじめ、民間事業者に選んでもらえる場所となるよう取り組んでいる。今後においても、バスターミナルや複合施設の整備など、地域の魅力・価値の向上、人が集まる地域づくりに取り組み、民間事業者を誘導し、多種多様な都市機能の集積を図りたいと考えている。	記載しない
23	道路方針図に基づいてどのような整備を進めるのか。現行計画は路線名まで挙げ整備方針を示している。	国道、県道の整備については、県と調整の上、県の計画である社会基盤整備プログラムに基づく整備内容を記載している。 市道については、整備が決定しているまたは整備が進行している路線名は、地域別構想ページの都市施設の方針で記載しているが、基本的には、都市計画マスタープランに沿って、道路などの具体的な整備計画を定めていくものとなる。よって、見直し後の都市計画マスタープランに沿って、次年度以降、道路ネットワーク計画を策定し、具体的な整備内容等を示していく。	記載しない

番号	意見等の概要	意見に対する考え方	マスタープランへの対応
24	水道の民営化は営利企業の参入を許すためするべきではない。	水道事業全般を民営化するものではなく、水道料金徴収など業務に関する民間委託を指している。	記載しない
25	市街化区域における、細街路しか進入路がないことによる建築不可物件に対する長期的な対策を盛り込むべき。(街路に接した家の、再建築時のセットバック義務付け等)	建築基準法上、セットバックが義務付けられる道路については、防災上の問題もあるため、全体構想ページの安全・安心な都市づくりの方針「住宅地における災害の防止対策」の項目において、「住宅更新時の狭隘道路の改善などによる避難路の確保に努める」旨を記載している。	記載済
26	都市計画道路社外環状線の未整備区間の対策が示されていない。	都市計画道路については、その必要性・実現性を見極めて見直しを行う。必要性が高い道路については、関係機関と連携しながら整備を進める。	記載済
27	起勢の里と滝野総合公園は両方整備するのか。	両公園は、当初の整備計画により未整備箇所があるが、見直し後の都市計画マスタープランの目標年次（2027年度）までに、整備の必要性や実現性、規模縮小も含めて調査・研究を行い、方向性を示していく。	記載しない
28	兵庫教育大学周辺を文教地区として整備する項目を削除すべきでない。	人口密度を維持する都市構造を基本方針としている点や利便性などを考慮すると、郊外地における整備は望ましいものではないと考えているため削除したが、兵庫教育大学をはじめとした教育機関などと連携し、意見交換を行うなど、都市づくりに活かしていく。	記載しない
29	播磨中央公園はテニスコートが使えないまま放置される等整っていると書くのはおかしい状態である。県と連携して整備をするか。	播磨中央公園は県施設のため、市としては、県と連携しながら施設の利用促進に努める方針としている。	記載しない

番号	意見等の概要	意見に対する考え方	マスタープランへの対応
30	3つの文化会館は不要と言いながら東条文化会館を主要な地域資源に書くのはおかしい。	地域の現況の説明項目であるため、現況の施設等を列挙している。	記載しない
31	社 PA 裏手の耕作放棄地はバス利用者の駐車場にできないのか。これは意味のあるパークアンドライドになる。	高速バスのパーク & バスライドについては、既に滝野社インター停留所周辺と高速東条停留所周辺に民間の駐車場があることから、それらを利用していくだくように誘導していく。 社 PA 駐車場については、現在、民間駐車場も利用されており、市が積極的な駐車場整備を行う必要はないと考えている。	記載しない
32	天神から森に橋を架け、宅地整備をする計画は継続する気なのか。	天神西、天神東掎鹿谷の区画整理地内未利用地（宅地）の利用促進を優先的に行う必要があると考えている。 市道天神横谷線（森地区）は、天神地区における交通利便性の向上に向けて、道路整備を推進する。	記載しない
33	高齢者の増加とともに平均寿命も延びており、この地域において回復期から生活期の医療受給者が増加することは避けられないと考えている。Bio 周辺のバスターミナルなど交通基盤の整備による利便性向上と地域の活性に加えて、回復期リハビリテーション病院（地域包括ケア病棟も含む）の有用性を検討するとともに、加東市における地域完結型医療の実現を目指してはどうかと思っている。	現在、加東市民病院で、急性期病棟のひとつを回復期への対応ができるよう、地域包括ケア病棟へ変更して運営している。兵庫県地域医療構想（北播磨圏域）の中でも、市民病院の役割分担として、回復期を担うこととしている。 また、開業医との連携のもと、ケアホームかとうや訪問介護ステーションを効率的に活用して、在宅医療や介護のバックアップにも力を入れている。 なお、加東市では、二次保健医療圏域（北播磨圏域）での地域完結型医療の実現に向けての体制づくりに取り組んでいく。	記載しない

■前回委員会からの都市計画マスター プラン（案）の主な修正箇所

※区分 策定委員会：加東市都市計画マスター プラン策定委員会での意見 パブコメ：パブリックコメントでの意見

No.	区分※	意見・提案	対応（案）	関連する箇所	備考
前回委員会での意見を踏まえた修正等					
1	策定委員会	都市づくりのテーマについて	委員長預かりとし、以下に決定。 「まち・ひと・しごとが自然とともに発展するまち 加東」	全体構想・将来都市像	
2	策定委員会	Bio 周辺においてどのような機能を誘導したいのか、大きな方向性を示しておくべきではないか。	将来都市構造として、まちの拠点において、 「Bio 周辺は…商業・業務、交通、居住などの都市機能が集積する『まちの拠点』に位置付け、交通結節機能などの強化とあわせ、本市内をはじめ周辺市町から人々が集まり、にぎわい、くつろぎ、交流し、さらに、働く場となる拠点の創出を図る」と、Bio 周辺の方向性を加える。 土地利用の方針では、 「Bio 周辺は…商業・業務、交通、居住などの都市機能の集積を図るとともに、市民生活の利便性の向上及び交流人口の拡大に向けて、新たな交通の結節点及び交流の拠点を創出する」ことを加える。	全体構想・将来都市構造 全体構想・土地利用・都市機能集積エリア 地域別構想・社・土地利用・都市機能集積エリア	
3	策定委員会	Bio 周辺の市街化区域への編入を検討しているのであれば、将来の姿として、商業地域への変更などを明示しておくべきでは。	土地利用の方針では、 「市街化調整区域でまちの拠点になるエリアでは、地区計画制度の活用や市街化区域への編入、商業系用途地域の指定などを検討し、効果的な土地利用を推進する」ことを加える。	全体構想・土地利用・都市機能集積エリア 地域別構想・社・土地利用・都市機能集積エリア	
4	策定委員会	土地利用方針図等には、兵庫教育大学を記載する。	土地利用方針図、道路方針図、公共交通方針図を修正し、兵庫教育大学の位置を記載。	全体構想・土地利用／都市施設	
5	策定委員会	自転車の推進について、具体的な区間や観光に関する自転車利用促進との整合はどうするのか。	自転車の推進について、詳細は未定であるが、将来的には、自転車通行空間の確保に向けて自転車ネットワーク計画の策定について検討することを加える。	全体構想・都市施設・交通施設	

■前回委員会からの都市計画マスター プラン（案）の主な修正箇所

※区分 策定委員会：加東市都市計画マスター プラン策定委員会での意見 パブコメ：パブリックコメントでの意見

No.	区分*	意見・提案	対応（案）	関連する箇所	備考
6	策定委員会	バスター ミナルを活用した「パーク＆ライド」とあるが、「パーク＆バスライド」が適切。	「パーク＆バスライド」に修正、統一。	全体構想・市街地整備・都市機能の増進 地域別構想・社・市街地整備	
7	策定委員会	市全体の課題と地域の課題をすり合わせ、地域別構想図を作成する。	地域別構想図では、地域別構想に文章として記載した施策だけでなく、全体構想に記載した施策についても整理。	地域別構想	
8	策定委員会	外国人の受入れについて、具体的に何を行なうのか。	農業や工業における外国人労働者の受入れには、事業者が個別に行なうものであるが、市としては、多文化共生や外国人をコミュニティの中で受け入れていくことを目指し、外国人労働者と地域住民など、異なる立場の人々が互いの文化や風習を理解しあえる場・機会の創出に努めることを加える。	推進体制 市民を中心とした都市づくりの推進	
9	策定委員会	兵庫教育大学との連携は具体的にどのように進めるのか。	市では現在、兵庫教育大学と連携し、教育や学びに関する事業を中心に、様々な連携協力事業を実施している。 その趣旨を踏まえて、推進体制の中で、「②加東の未来を考え、実践する担い手を育む」とする項目を追加。 その中で、「兵庫教育大学をはじめとした教育機関などと連携するとともに、外部の専門家のアドバイスを聞いたり、地域住民同士で意見交換を行うなど、様々な機会を通じ、地域で学び、地域の未来を考える機会を創出する」ことを、方針として加える。	推進体制 協働による計画推進	
10	策定委員会	Bio周辺の土地利用規制が厳しく、事業が進まないのであれば、IC周辺など開発しやすいところに中心を変えてはどうか。Bioは将来維持できるのか。	Bioの南側では、商業系の用途地域指定を検討しており、都市計画マスター プランに記載することで、関係機関との協議や将来の制度改正等に対応できるようにしておく。	全体構想・将来都市構造、土地利用・都市機能集積エリア	計画書の修正なし

■前回委員会からの都市計画マスター プラン（案）の主な修正箇所

※区分 策定委員会：加東市都市計画マスター プラン策定委員会での意見 パブコメ：パブリックコメントでの意見

No.	区分*	意見・提案	対応（案）	関連する箇所	備考
パブリックコメントでの意見を踏まえた修正等					
11	パブ コメ	人口展望で40,000人としながら、グラフでは39,500人となっている。	グラフの約39,500人は推計値を示すものである。 グラフのタイトルを「人口推計」に修正	全体構想・人口の将来展望	
12	パブ コメ	滝野社IC周辺はポテンシャルが高く、周辺の土地に関しては、土地利用を図る余地がある。主として工業系や商業系などの複合的な産業集積を図り、「区域拡大も検討」といった修正があると良い。	住工共生地のうち、滝野社IC周辺は、広域交通結節点として、アクセスの良さを活かした土地利用を促進していく。 そこで、 「滝野社インターチェンジ周辺は、広域交通結節点の利便性を活かした産業集積エリアとして、住工共生地周辺を含めた一体的な土地利用の促進を図る」ことを加える。	全体構想・土地利用・ 住工共生地	
13	パブ コメ	北野地区に隣接する穂積地区の農地は、滝野社ICにも近く、国道175号線の沿道であることから、住工共生区域が拡大できるよう文言修正を検討してはどうか。		地域別構想・社/滝野・ 土地利用・住工共生地	
14	パブ コメ	滝野社IC付近に地区計画を活用した活性化を考えるべき。			
15	パブ コメ	中小工業地など、工業が集積するところは、特別指定区域を指定してはどうか。	市街化調整区域の工場集積地や廃工場の土地利用を促進するためには、特別指定区域制度の活用が有効。そこで、田園共生地（市街化調整区域）の土地利用の方針として、 「工場集積地などの土地利用の促進を図るため、特別指定区域制度などの活用を検討する」ことを加える。 なお、提案があった具体的な場所は、参考とさせていただく。	全体構想・土地利用・ 田園共生地	
16	パブ コメ	県道西脇三田線の木梨～下久米間の歩道の整備状況に差がありすぎる。旧175号も含めて県に整備を求めるべき。 自転車での通学に危険である。	県道の整備については、県と調整の上、県が定める「社会基盤整備プログラム」に基づき整備路線を記載している。 その他の路線においても、危険箇所などがあれば県に整備を要望している。これを踏まえて、 「市内の通学路に関する箇所や安全対策上必要な箇所は、歩道整備などを促進する」ことを加える。	全体構想・都市施設・ 交通施設	

■前回委員会からの都市計画マスター プラン（案）の主な修正箇所

※区分 策定委員会：加東市都市計画マスター プラン策定委員会での意見 パブコメ：パブリックコメントでの意見

No.	区分※	意見・提案	対応（案）	関連する箇所	備考
17	パブ コメ	議会では検討すると述べていたが、Bioと国道372号のアクセス道路の整備について記載されていない。	既存道路を活用した沿道整備も含めて検討しており、「まちの拠点の活性化を図るため、まちの拠点と国道372号を結ぶ道路の整備を含め、アクセス強化の手法を検討する」ことを加える。	全体構想・市街地整備・都市機能の増進 地域別構想・社・市街地整備	
18	パブ コメ	集落内でも、道路を挟んで市街化区域と市街化調整区域が分かれるところがある。 市街化調整区域の梶原地区、喜田地区などは、沿道の利便性や周辺に郊外型量販店が出店していることを踏まえて、この区域について市街化区域に編入してはどうか。	市街化区域内の低未利用地の利活用を優先するが、市街化区域に隣接する利便性が高い市街化調整区域については、住宅地の整備を検討することとして、「市街化区域の土地利用の動向などにより、住宅地の確保が必要な場合は、市街化区域に隣接する市街化調整区域のうち、通学や日常生活において利便性が高い区域を対象に、土地区画整理事業や民間開発の誘導による宅地開発を検討する」ことを加える。	全体構想・市街地整備・住環境の整備	
19	パブ コメ	現行の都市計画マスター プランでは、喜田・山国地区の市街化調整区域において「適切な土地利用への誘導」が位置付けられている。今回は削除するのか。			
20	パブ コメ	全体構想と地域別構想で、片方にしか記載されていなかったり、両方に記載されていても文言が違っていたりする箇所があるので、わかりやすく整理してはどうか。	記載内容や文言を整理・修正	全体構想・地域別構想	